

アンケート調査へのご協力をお願いいたします

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私ども、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 大江守之研究室では現在「地方圏における高校卒業者の U ターン動向に関する研究」を行なっております。その一環としてこの度、兵庫県立洲本高等学校の同窓会名簿より計〇〇〇名の方を選び、生活実態に関するアンケート調査を実施させていただくことになりました。このアンケートは無記名でご返送いただき、返送されたアンケート票がどなたのものか特定できないようになっております。また、お答えいただいた結果は統計的に処理されるため、学会発表等における結果の公表において個人が特定されることはございません。ご安心の上、ぜひともご協力下さいますようお願い申し上げます。 敬具

アンケート用紙は計 22 ページあります。このアンケートは宛名のご本人がお答え下さい。また、お答えいただいた結果は同封の返信用封筒にて〇月〇日までにご返信くださいますようお願い致します。

なお、万一宛名のご本人が別の住所にお住まいの場合は、大変ご面倒ではありますが、現在のご住所を同封の上、本アンケート票をご返送頂けると幸いです。

それでは、なにかとお忙しいこととは存じますが、研究の趣旨をご理解の上、ぜひともご協力下さいますようお願い申し上げます。

[調査主体・お問い合わせ]

〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤 5322

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス 大江守之研究室

担当 片桐 暁史（慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 修士課程 2 年、洲本高校 50 期生）

電話番号 0466-43-8571 又は 090-2621-4671

e-mail akifumi@sfc.keio.ac.jp

慶應義塾大学 大学院 政策メディア研究科 修士課程 2 年
片桐 暁史 / akifumi@sfc.keio.ac.jp

質問 A-1～13 は、全ての方がお答え下さい。

質問 A-1 あなたの年齢と性別をお答え下さい。

満（ ）歳 男・女

質問 A-2 あなたのごきょうだいの人数をお答え下さい。

兄（ ）人 弟（ ）人 姉（ ）人 妹（ ）人

質問 A-3 ご結婚についてうかがいます。

1. 結婚している → いつご結婚されましたか？ 昭和・平成（ ）年

2. 結婚していない

質問 A-4 あなたの配偶者のご出身（10歳代を主として過ごしたところ）はどちらですか？

＊既婚の方のみお答え下さい。

（ ）都・道・府・県 （ ）市・区・町・村

質問 A-5 あなたが学ばれた学校についてお答え下さい。

(1)中学校

（ ）中学校を 昭和（ ）年3月に卒業

→中学校の所在地：（ ）都・道・府・県（ ）市・区・町・村

(2)高等学校

兵庫県立洲本高等学校を 昭和・平成（ ）年3月に卒業

(3)その後、大学・専門学校等に進学された方は、以下に同様にご記入下さい。

大学・短大・大学院・専門学校・高専・その他（ ）を

昭和・平成（ ）年（ ）月に卒業

→大学等の所在地：（ ）都・道・府・県（ ）市・区・町・村

質問 A-6 あなたと配偶者、それぞれ現在の現在のご職業についてお答え下さい。

(1)～(3)については、それぞれ下の<1>～<3>欄から1つだけ選び、番号を回答欄に記入して下さい（「その他」を選択の方は、具体的に）。(4)については、具体的に記入下さい。

＊配偶者については、既婚の方のみお答え下さい

回答欄	(1)雇用形態	(2)職種	(3)会社全体の 全従業員数	(4)勤務先 通勤時間
あなた				（ ）都/道/府/県（ ）市/区/町/村 通勤時間 約（ ）分
配偶者				（ ）都/道/府/県（ ）市/区/町/村 通勤時間 約（ ）分

<1>欄 雇用形態	1. 会社員 2. 公務員 3. 公的企業職員（農協・JR・JT・NTT等） 4. 自営（農業） 5. 自営（商業） 6. 自営（工業） 7. 自営の家族従業者 8. パート・アルバイト 9. 専業主婦 10. 無職 11. その他（具体的に）
<2>欄 職種	1. 農林漁業職 2. 教員 3. 事務職 4. 管理職 5. 技術職 6. 専門的職業（医師・弁護士・看護師・作家など） 7. 販売・接客・保安職 8. 工場労働・建設作業・交通運転職 9. その他（具体的に）
<3>欄 会社全体の 全従業員数	1. 10人未満 2. 10～99人 3. 100～299人 4. 300～999人 5. 1000～2999人 6. 3000人以上

質問 A-7 お子さまについてご記入下さい。

1. 子供がいる	1人目の お子さま	2人目の お子さま	3人目の お子さま	4人目の お子さま	5人目の お子さま	6人目の お子さま	7人目の お子さま	2. 子供はいない
	男・女	男・女	男・女	男・女	男・女	男・女	男・女	
	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	
	同居・別居	同居・別居	同居・別居	同居・別居	同居・別居	同居・別居	同居・別居	

質問 A-8 あなたと配偶者、それぞれのご両親はご健在ですか？また、現在どちらにお住まいですか？

(1)あなたのご両親

1. 2人とも健在 → 1. 自分（あなた）と同居
2. 片方は健在 2. 近居（あなたの家から歩いていける距離）
3. 別居（ ）都道府県（ ）市区町村に在住
3. 2人とも亡くなった

(2)配偶者のご両親 *既婚の方のみお答え下さい。

1. 2人とも健在 → 1. 自分（あなた）と同居
2. 片方は健在 2. 近居（あなたの家から歩いていける距離）
3. 別居（ ）都道府県（ ）市区町村に在住
3. 2人とも亡くなった

質問 A-9 あなたの高校在学時からの居住歴についてお答え下さい。

	居住の期間	居住地の住所	住居のタイプ	住居の所有形態	そのときの 通学・通勤先
高校在学時の 住まい	昭和・平成 年 月 ～昭和・平成 年 月	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村	1. 一戸建て 2. 集合住宅	1. 賃貸 2. 社宅・官舎 3. 持ち家 4. 親の持ち家	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村
大学等在学時の	昭和・平成	()	1. 一戸建て	1. 賃貸	()

住まい ※大学等に進学 した方のみ	年 月 ～昭和・平成 年 月	都・道・府・県 () 市・区・町・村	2. 集合住宅	2. 社宅・官舎 3. 持ち家 4. 親の持ち家	都・道・府・県 () 市・区・町・村
就職時の住まい	昭和・平成 年 月 ～昭和・平成 年 月	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村	1. 一戸建て 2. 集合住宅	1. 賃貸 2. 社宅・官舎 3. 持ち家 4. 親の持ち家	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村
就職後2ヶ所目の 住まい	昭和・平成 年 月 ～昭和・平成 年 月	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村	1. 一戸建て 2. 集合住宅	1. 賃貸 2. 社宅・官舎 3. 持ち家 4. 親の持ち家	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村
就職後3ヶ所目の 住まい	昭和・平成 年 月 ～昭和・平成 年 月	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村	1. 一戸建て 2. 集合住宅	1. 賃貸 2. 社宅・官舎 3. 持ち家 4. 親の持ち家	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村
就職後4ヶ所目の 住まい	昭和・平成 年 月 ～昭和・平成 年 月	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村	1. 一戸建て 2. 集合住宅	1. 賃貸 2. 社宅・官舎 3. 持ち家 4. 親の持ち家	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村
就職後5ヶ所目の 住まい	昭和・平成 年 月 ～昭和・平成 年 月	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村	1. 一戸建て 2. 集合住宅	1. 賃貸 2. 社宅・官舎 3. 持ち家 4. 親の持ち家	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村
就職後6ヶ所目の 住まい	昭和・平成 年 月 ～昭和・平成 年 月	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村	1. 一戸建て 2. 集合住宅	1. 賃貸 2. 社宅・官舎 3. 持ち家 4. 親の持ち家	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村
現在の住まい	昭和・平成 年 月 ～現在	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村	1. 一戸建て 2. 集合住宅	1. 賃貸 2. 社宅・官舎 3. 持ち家 4. 親の持ち家	() 都・道・府・県 () 市・区・町・村

質問 A-10 あなたの高校卒業後の居住歴パターンは、次のどれに当てはまりますか？

1. 高校卒業後、ずっと淡路島内に住んでいる（島外での居住経験はない）。
2. 高校卒業後、進学・就職等で淡路島外に移住し、現在も島外に住んでいる。
3. 高校卒業後、淡路島外に出て就職をし、その後転職（転勤）して島内に戻ってきた。
4. 高校卒業後、淡路島外の大学等に進学し、卒業時に島内に戻り就職した。
5. 高校卒業後、淡路島外の大学等に進学し、卒業後島外で就職し、

その後転職（転勤）して島内に戻ってきた。

6. 高校卒業後、淡路島外に出て就職をし、その後転職（転勤）して島内に戻ったが、その後再び島外へ移住した。
7. 高校卒業後、淡路島外の大学等に進学し、卒業時に島内に戻り就職したが、その後再び島外へ移住した。
8. 高校卒業後、淡路島外の大学等に進学し、卒業後島外で就職し、その後転職（転勤）して島内に戻ったが、その後再び島外へ移住した。
9. その他（ ）

質問 A-11 あなたは今後、(1)定年までの居住地、(2)定年後の居住地についてどのような希望を持っておられますか？

(1)定年までの居住地

1. 今の場所に住み続けたい
2. 今の場所からは移りたい →その場所は？
 1. 三大都市圏の都心周辺 2. 三大都市圏の郊外 3. その他淡路島外の都市部
 4. 淡路島内（自分の出身市町） 5. 淡路島内（自分の出身市町以外）
 6. その他淡路島外の地方圏・中山間（農山漁村）地域など
 7. その他（ ）

(2)定年後の居住地

1. 今の場所に住み続けたい
2. 今の場所からは移りたい →その場所は？
 1. 三大都市圏の都心周辺 2. 三大都市圏の郊外 3. その他淡路島外の都市部
 4. 淡路島内（自分の出身市町） 5. 淡路島内（自分の出身市町以外）
 6. その他淡路島外の地方圏・中山間（農山漁村）地域など
 7. その他（ ）

質問 A-12 あなたは今後、(1)定年までの同居者、(2)定年後の同居者についてどのような希望を持っておられますか？(A)親との関係、(B)子供との関係について、それぞれ下の<A>欄欄から 1 つだけ選び、番号を回答欄に記入して下さい（「その他」を選択の方は、具体的に）。

回答欄	(A)親との関係	(B)子供との関係
定年まで		
定年後		

<A>欄 親との関係	1. 現在の居住関係を続けたい 2. あなたの現在の居住地へ親を呼び寄せ、同居したい 3. あなたの現在の居住地近辺へ親を呼び寄せ、近くに居住したい 4. 親の居住地へあなたが移住し、同居したい
---------------	---

	5. 親の居住地近辺へあなたが移住し、近くに居住したい 6. その他（具体的に）
欄 子供との関係	1. 現在の居住関係を続けたい 2. あなたの現在の居住地へ子供に戻って来てもらい、同居したい 3. あなたの現在の居住地近辺へ子供に戻って来てもらい、近くに居住したい 4. 子供の居住地へあなたが移住し、同居したい 5. 子供の居住地近辺へあなたが移住し、近くに居住したい 6. その他（具体的に）

質問 13 あなたと配偶者、それぞれが積極的に参加している地域組織・活動（町内会・ロータリークラブ・生協・婦人会など）はありますか？ある場合はその組織の名称と活動内容をご記入下さい。

(1)あなた

- ある→ 名前（ ） 内容（ ）
名前（ ） 内容（ ）
名前（ ） 内容（ ）
- ない

(2)配偶者 ＊既婚の方のみお答え下さい

- ある→ 名前（ ） 内容（ ）
名前（ ） 内容（ ）
名前（ ） 内容（ ）
- ない

質問 A-10 で、1. 9. を選んだ方は、質問 E-1 以降へお進み下さい。

質問 A-10 で、2. を選んだ方は、質問 B-1 以降へお進み下さい。

質問 A-10 で、3. 4. 5. を選んだ方は、質問 C-1 以降へお進み下さい。

質問 A-10 で、6. 7. 8. を選んだ方は、質問 D-1 以降へお進み下さい。

質問 B-1～7 は、質問 A-10 で 2. を選んだ方（淡路島 U ターン非実行者）のみお答え下さい。

質問 B-1 あなたは淡路島への U ターンを考えたことがありますか？

1. ある （ ）歳のころ

就職して（ ）年のころ（就職する前であれば「0」とご記入下さい）

→何か具体的に行動しましたか（いくつでも○をつけてください）

- 資料を集めた
- 親族に相談した
- 役場などの窓口で相談した
- 転職先を探した
- 転職先と面接した
- その他（ ）
- 特に何もしない

→結果的に断念した理由は何ですか？ 具体的にご記入下さい。

()
→質問 B-2 以降へお進み下さい。

2. ない

→質問 B-6 以降へお進み下さい

質問 B-2 あなたが淡路島への U ターンを検討した際、その際のきっかけになったこととして当てはまるものに、いくつでも○をつけてください。

1. 親の面倒を見る必要が生じた
2. 将来親の面倒を見るために帰っておこうと思った
3. 家業を継承する必要が生じた
4. 将来家業を継承するために帰っておこうと思った
5. 子供の頃からの人間関係の中で生活したくなった
6. 親戚が多く生活が安定するから
7. 豊かな自然環境の中で生活したくなった
8. のんびりとした土地柄に魅力を感じた
9. 良好な住宅事情に魅力を感じた
10. 物価が安いことに魅力を感じた
11. 出身地域の発展に貢献したくなった
12. 新しい仕事を始めたかった
13. 会社や地域での人間関係に疲れた
14. 会社を辞めざるを得なくなった
15. 身体をこわした
16. 出世の見込みがなくなった
17. 大都会のせわしさに嫌気が差した
18. 持ち家を取得できる見込みがなくなった
19. 明石海峡大橋・大鳴門海峡大橋開通などから、淡路島から職場への通勤が可能となった
20. 福祉サービスの充実した地域で生活したくなった
21. その他 ()

質問 B-3 あなたが淡路島への U ターンを検討した際、その際の差し障りになったこととして当てはまるものに、いくつでも○をつけてください。

1. 移住先に自分にあった職種が不足していた
2. 収入が下がるのが嫌だった
3. 地域社会へうまく溶け込めるか不安があった
4. 出世へのこだわりがあった
5. 配偶者が（本人の）仕事を変えたがらなかった
6. 子供の学校を変えたくなかった
7. 子供を都会の進学校へ入れたかった
8. 華やかな都会生活へのこだわりがあった
9. これまでに築いた人間関係（会社・近所・親戚等）を維持したかった
10. 配偶者がこれまでに築いた人間関係を維持したがった
11. 子供が友達関係を維持したがった
12. その他 ()

質問 B-4 あなたが淡路島への U ターンを検討した時期、あなたご自身やご家庭の状況はどのようなか？

(1)親の健康状態はどのようなでしたか。また、そのお住まいはどちらでしたか。実親・義親それぞれについて、選択肢から 1 つだけ選び、番号を回答欄に記入して下さい。

＊義親については、当時既婚の方のみお答え下さい

[選択肢]

健康状態→1. 健康 2. やや病気がち 3. 病氣中 4. 既に亡くなっていた

お住まい→1. 淡路島内 2. 淡路島外

回答欄	実父	実母	義父	義母
健康状態				
お住まい				

(2)あなたと配偶者、それぞれそのときの職について、選択肢から1つだけ選び、番号を回答欄に記入してください。 ＊配偶者については、当時既婚の方のみお答え下さい

[選択肢]

男性の選択肢→1. 管理職だった 2. 管理職ではなかった 3. 仕事はしていなかった

女性の選択肢→4. 常勤で働いていた 5. パートで働いていた 6. 仕事はしていなかった

回答欄	あなた	配偶者

(3)お子様はそのとき（あてはまるもの全てに○をつけてください）

1. 既に就職していた 2. 大学・短大生等だった 3. 高校生だった 4. 中学生だった
5. 小学生だった 6. 小学生未満だった 7. 子供はいなかった

質問 B-5 あなたが淡路島へのUターンを検討した際、あなたご自身あるいは夫の次の職場を検討されたことと思いますが、その際の年収がやむをえず低下する可能性がありましたか？

1. 年収が低下する可能性はなかった
2. 年収が0～10%低下する可能性があった 3. 年収が10～20%低下する可能性があった
4. 年収が20～30%低下する可能性があった 5. 年収が30%以上低下する可能性があった
6. まだ就職していなかった

質問 B-6 今後の淡路島へのUターンに対する意向についてお答え下さい。

(1)今後、いつかUターンして淡路島で再び生活したいという意向はありますか？

1. 非常にある 2. ある 3. 関心はあるが今は分からない（どちらとも言えない）
4. ない 5. その他（ ）

(2)上の(1)で1. 又は2. を選択された方にお尋ねします。

Uターンされる時期はいつぐらいを予定されていますか。あわせてUターンを予定されている年齢をご記入下さい。

1. できるだけ早く 2. 子どもが小学校へ入学する前に
3. 子どもが独立してから 4. 定年退職してから
5. 年金をもらえるようになってから 6. 具体的な時期は分からない

7. その他（ ）

また、それは何歳ぐらいの予定ですか。 ⇒ （ ） 歳ごろを予定 ・ 未定

質問 B-7 様々な都合で実際には無理だとしても、現時点で U ターンするには、淡路島の生活でどのような条件が整えばよいと思われますか。

(1)以下の各項目について、それぞれ「1. かなり当てはまる 2. まあ当てはまる 3. どちらとも言えない 4. あまり当てはまらない 5. ほとんど当てはまらない」の中から、あなたのお考えに近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

当てはまる ← | → 当てはまらない

1	大手企業の地方進出による雇用の創出	1	2	3	4	5
2	地域の地場産業活性化による雇用の創出	1	2	3	4	5
3	地方での給与水準の引き上げ	1	2	3	4	5
4	十分な住宅の確保	1	2	3	4	5
5	多彩な消費生活が可能なショッピング環境作り	1	2	3	4	5
6	娯楽施設（遊園地・映画館等）の充実	1	2	3	4	5
7	文化的施設（ホール・図書館等）の充実	1	2	3	4	5
8	大都市なみの教育環境の整備	1	2	3	4	5
9	既婚女性が働くための職場の充実	1	2	3	4	5
10	地域社会が、濃密な近隣関係を持った「ムラ社会」から脱却すること	1	2	3	4	5
11	公的機関による職場斡旋の充実	1	2	3	4	5
12	豊かな自然環境を維持すること	1	2	3	4	5
13	病院などの医療サービスの充実	1	2	3	4	5
14	高齢者のための福祉施設等の充実	1	2	3	4	5
15	神戸方面とを結ぶ安価な移動手段（高速道路料金や高速バス料金）	1	2	3	4	5
16	その他（具体的に ）	1	2	3	4	5

(2)上に掲げた各条件のうち、特に必要なものから順に3つまで選びその番号をご記入下さい。

回答欄	1 番の条件	2 番の条件	3 番の条件

質問 E-1 以降へお進み下さい。

質問 C-1～16 は、質問 A-10 で 3. 4. 5. を選んだ方（淡路島 U ターン実行者）のみお答え下さい。

質問 C-1 あなたが淡路島への U ターンを検討・実行したのはいつ頃ですか？

（ ） 歳のころ

就職して（ ）年のころ（就職する前であれば「0」とご記入下さい）

質問 C-2 あなたが淡路島へ U ターンした際、その際のきっかけになったこととして当てはまるものに、
いくつでも○をつけてください。

1. 親の面倒を見る必要が生じた
2. 将来親の面倒を見るために帰っておこうと思った
3. 家業を継承する必要が生じた
4. 将来家業を継承するために帰っておこうと思った
5. 子供の頃からの人間関係の中で生活したくなった
6. 親戚が多く生活が安定するから
7. 豊かな自然環境の中で生活したくなった
8. のんびりとした土地柄に魅力を感じた
9. 良好な住宅事情に魅力を感じた
10. 物価が安いことに魅力を感じた
11. 出身地域の発展に貢献したくなった
12. 新しい仕事を始めたかった
13. 会社や地域での人間関係に疲れた
14. 会社を辞めざるを得なくなった
15. 身体をこわした
16. 出世の見込みがなくなった
17. 大都会のせわしさに嫌気が差した
18. 持ち家を取得できる見込みがなくなった
19. 明石海峡大橋・大鳴門海峡大橋開通などから、淡路島から職場への通勤が可能となった
20. 福祉サービスの充実した地域で生活したくなった
21. その他 ()

質問 C-3 あなたが淡路島へ U ターンした際、その際の差し障りになったこととして当てはまるものに、
いくつでも○をつけてください。

1. 移住先に自分にあった職種が不足していた
2. 収入が下がるのが嫌だった
3. 地域社会へうまく溶け込めるか不安があった
4. 出世へのこだわりがあった
5. 配偶者が（本人の）仕事を変えたがらなかった
6. 子供の学校を変えたくなかった
7. 子供を都会の進学校へ入れたかった
8. 華やかな都会生活へのこだわりがあった
9. これまでに築いた人間関係（会社・近所・親戚等）を維持したかった
10. 配偶者がこれまでに築いた人間関係を維持したがった
11. 子供が友達関係を維持したがった
12. その他 ()

質問 C-4 あなたが淡路島への U ターンする直前、あなたご自身やご家庭の状況はどのようなでしたか？

(1)親の健康状態はどのようなでしたか。また、そのお住まいはどちらでしたか。実親・義親それぞれについて、選択肢から1つだけ選び、番号を回答欄に記入して下さい。

*義親については、当時既婚の方のみお答え下さい

〔選択肢〕

健康状態→1. 健康 2. やや病気がち 3. 病氣中 4. 既に亡くなっていた

お住まい→1. 淡路島内 2. 淡路島外

回答欄	実父	実母	義父	義母
-----	----	----	----	----

健康状態				
お住まい				

(2)あなたと配偶者、それぞれそのときの職について、選択肢から1つだけ選び、番号を回答欄に記入してください。 *配偶者については、当時既婚の方のみお答え下さい

[選択肢]

男性の選択肢→1. 管理職だった 2. 管理職ではなかった 3. 仕事はしていなかった

女性の選択肢→4. 常勤で働いていた 5. パートで働いていた 6. 仕事はしていなかった

回答欄	あなた	配偶者

(3)お子様はそのとき（あてはまるもの全てに○をつけてください）

1. 既に就職していた 2. 大学・短大生等だった 3. 高校生だった 4. 中学生だった
5. 小学生だった 6. 小学生未満だった 7. 子供はいなかった

質問 C-5 あなたが淡路島へUターンする直前、あなたご自身あるいは夫の次の職場を検討されたこと
と思いますが、その際の年収がやむをえず低下する可能性がありましたか？

1. 年収が低下する可能性はなかった
2. 年収が0～10%低下する可能性があった 3. 年収が10～20%低下する可能性があった
4. 年収が20～30%低下する可能性があった 5. 年収が30%以上低下する可能性があった
6. まだ就職していなかった

質問 C-6 淡路島へのUターンの際、あなたご自身あるいは夫は勤め先の会社を変えましたか？
（転職しましたか？）

1. 変えた 2. 変えなかった

質問 C-7 あなたご自身あるいは夫の、Uターン直前とUターン直後のご職業についてお答え下さい。

(1)～(3)については、それぞれ下の<1>～<3>欄から1つだけ選び、番号を回答欄に記入して下さい（「その他」を選択の方は、具体的に）。(4)については、具体的にご記入下さい。

*変わっていない方は「変化なし」とご記入下さい

回答欄	(1)雇用形態	(2)職種	(3)会社全体の 全従業員数	(4)勤務先 通勤時間
Uターン 直前				()都/道/府/県()市/区/町/村 通勤時間 約()分
Uターン 直後				()都/道/府/県()市/区/町/村 通勤時間 約()分

<1>欄 雇用形態

1. 会社員 2. 公務員 3. 公的企業職員（農協・JR・JT・NTT等）

	4. 自営（農業） 5. 自営（商業） 6. 自営（工業） 7. 自営の家族従業者 8. パート・アルバイト 9. 専業主婦 10. 無職 11. その他（具体的に）
<2>欄 職種	1. 農林漁業職 2. 教員 3. 事務職 4. 管理職 5. 技術職 6. 専門的職業（医師・弁護士・看護師・作家など） 7. 販売・接客・保安職 8. 工場労働・建設作業・交通運転職 9. その他（具体的に）
<3>欄 会社全体の 全従業員数	1. 10人未満 2. 10～99人 3. 100～299人 4. 300～999人 5. 1000～2999人 6. 3000人以上

質問 C-8 Uターンの前後で年収はどのように変化しましたか？

1. +30%以上 2. +20～+30% 3. +10～+20% 4. +0～+10% 5. 全く変わらない
6. -0～-10% 7. -10～-20% 8. -20～-30% 9. -30%以上

質問 C-9 Uターンの前後で仕事の面白さはどうなりましたか？

1. 非常に面白くなった 2. 少し面白くなった 3. 変わらない
4. 少しつまらなくなった 5. 非常につまらなくなった

質問 C-10 あなたはUターンをして良かったとお考えですか？

またその理由（どういう点が良かったのか、悪かったのか）をご記入下さい。

- (1) 1. 非常に良かったと思う 2. どちらかと言えば良かったと思う
3. どちらかと言えば良くなかったと思う 4. 全く良くなかったと思う
5. 良かったとも悪かったとも一概には言えない

(2)Uターンして良かったと思う点

()

(3)Uターンして良くなかったと思う点

()

質問 C-11 あなたは淡路島へUターン後、再び島外への移住を検討したことがありますか？

1. ある () 歳のころ

淡路島にUターンして () 年のころ

結果的に実行しなかった理由は何ですか？ 具体的にご記入下さい。

()

→質問 C-12 以降へお進み下さい

2. ない →質問 C-15 以降へお進み下さい

質問 C-12 あなたが淡路島外への再移住を検討した際、その際のきっかけになったこととして当てはまるものに、いくつでも○をつけてください。

選択肢検討中

質問 C-13 あなたが淡路島外への再移住を検討した際、その際の差し障りになったこととして当てはまるものに、いくつでも○をつけてください。

選択肢検討中

質問 C-14 あなたが淡路島外への再移住を検討した時期、あなたご自身やご家族の状況はどのようなでしたか？

(1)親の健康状態はどのようなでしたか。また、そのお住まいはどちらでしたか。実親・義親それぞれについて、選択肢から1つだけ選び、番号を回答欄に記入して下さい。

*義親については、当時既婚の方のみお答え下さい

[選択肢]

健康状態→1. 健康 2. やや病気がち 3. 病氣中 4. 既に亡くなっていた

お住まい→1. 淡路島内 2. 淡路島外

回答欄	実父	実母	義父	義母
健康状態				
お住まい				

(2)あなたと配偶者、それぞれそのときの職について、選択肢から1つだけ選び、番号を回答欄に記入してください。 *配偶者については、当時既婚の方のみお答え下さい

[選択肢]

男性の選択肢→1. 管理職だった 2. 管理職ではなかった 3. 仕事はしていなかった

女性の選択肢→4. 常勤で働いていた 5. パートで働いていた 6. 仕事はしていなかった

回答欄	あなた	配偶者

(3)お子様はそのとき（あてはまるもの全てに○をつけてください）

1. 既に就職していた 2. 大学・短大生等だった 3. 高校生だった 4. 中学生だった
5. 小学生だった 6. 小学生未満だった 7. 子供はいなかった

質問 C-15 今後の淡路島への定住、島外への再移住に対する意向についてお答え下さい。

(1)今後、いつか淡路島外へ再び移住し生活したいという意向はありますか？

1. 非常にある（非常に島外へ移住したい） 2. ある（島外へ移住したい）
3. 関心はあるが今は分からない（どちらとも言えない）
4. ない（淡路島内に定住したい）
5. その他（ ）

(2)上の(1)で1. 又は2. を選択された方にお尋ねします。

島外へ再移住される時期はいつぐらいを予定されていますか。あわせて再移住を予定されている年齢をご記入下さい。

1. できるだけ早く
2. 子どもが小学校へ入学する前に
3. 子どもが独立してから
4. 定年退職してから
5. 年金をもらえるようになってから
6. 具体的な時期は分からない
7. その他（ ）

また、それは何歳ぐらいの予定ですか。 ⇒ （ ） 歳ごろを予定 ・ 未定

質問 C-16 淡路島外に再移住せず島内に定住し続けるためには、淡路島の生活でどのような条件が整えばよいと思われますか。

(1)以下の各項目について、それぞれ「1. かなり当てはまる 2. まあ当てはまる 3. どちらとも言えない 4. あまり当てはまらない 5. ほとんど当てはまらない」の中から、あなたのお考えに近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

当てはまる ← | → 当てはまらない

1	大手企業の地方進出による雇用の創出	1	2	3	4	5
2	地域の地場産業活性化による雇用の創出	1	2	3	4	5
3	地方での給与水準の引き上げ	1	2	3	4	5
4	十分な住宅の確保	1	2	3	4	5
5	多彩な消費生活が可能なショッピング環境作り	1	2	3	4	5
6	娯楽施設（遊園地・映画館等）の充実	1	2	3	4	5
7	文化的施設（ホール・図書館等）の充実	1	2	3	4	5
8	大都市なみの教育環境の整備	1	2	3	4	5
9	既婚女性が働くための職場の充実	1	2	3	4	5
10	地域社会が、濃密な近隣関係を持った「ムラ社会」から脱却すること	1	2	3	4	5
11	公的機関による職場斡旋の充実	1	2	3	4	5
12	豊かな自然環境を維持すること	1	2	3	4	5
13	病院などの医療サービスの充実	1	2	3	4	5
14	高齢者のための福祉施設等の充実	1	2	3	4	5
15	神戸方面とを結ぶ安価な移動手段（高速道路料金や高速バス料金）	1	2	3	4	5
16	その他（具体的に ）	1	2	3	4	5

(2)上に掲げた各条件のうち、特に必要なものから順に3つまで選びその番号をご記入下さい。

回答欄	1 番の条件	2 番の条件	3 番の条件

質問 E-1 以降へお進み下さい。

質問 D-1～21 は、質問 A-10 で 6. 7. 8. を選んだ方（淡路島外再流出者）のみお答え下さい。

質問 D-1 あなたが淡路島への U ターンを検討・実行したのはいつ頃ですか？

就職して（ ）年のころ（就職する前であれば「0」とご記入下さい）

1. 親の面倒を見る必要が生じた
2. 将来親の面倒を見るために帰っておこうと思った
3. 家業を継承する必要が生じた
4. 将来家業を継承するために帰っておこうと思った
5. 子供の頃からの人間関係の中で生活したくなった
6. 親戚が多く生活が安定するから
7. 豊かな自然環境の中で生活したくなった
8. のんびりとした土地柄に魅力を感じた
9. 良好な住宅事情に魅力を感じた
10. 物価が安いことに魅力を感じた
11. 出身地域の発展に貢献したくなった
12. 新しい仕事を始めたかった
13. 会社や地域での人間関係に疲れた
14. 会社を辞めざるを得なくなった
15. 身体をこわした
16. 出世の見込みがなくなった
17. 大都会のせわしさに嫌気が差した
18. 持ち家を取得できる見込みがなくなった
19. 明石海峡大橋・大鳴門海峡大橋開通などから、淡路島から職場への通勤が可能となった
20. 福祉サービスの充実した地域で生活したくなった
21. その他（ ）

1. 移住先に自分にあった職種が不足していた
2. 収入が下がるのが嫌だった
3. 地域社会へうまく溶け込めるか不安があった
4. 出世へのこだわりがあった
5. 配偶者が（本人の）仕事を変えたがらなかった
6. 子供の学校を変えたくなかった
7. 子供を都会の進学校へ入れたかった
8. 華やかな都会生活へのこだわりがあった
9. これまでに築いた人間関係（会社・近所・親戚等）を維持したかった
10. 配偶者がこれまでに築いた人間関係を維持したがった
11. 子供が友達関係を維持したがった
12. その他（ ）

健康状態→1. 健康 2. やや病気がち 3. 病氣中 4. 既に亡くなっていた

お住まい→1. 淡路島内 2. 淡路島外

回答欄	実父	実母	義父	義母
健康状態				
お住まい				

(2)あなたと配偶者、それぞれそのときの職について、選択肢から1つだけ選び、番号を回答欄に記入してください。 *配偶者については、当時既婚の方のみお答え下さい

[選択肢]

男性の選択肢→1. 管理職だった 2. 管理職ではなかった 3. 仕事はしていなかった

女性の選択肢→4. 常勤で働いていた 5. パートで働いていた 6. 仕事はしていなかった

回答欄	あなた	配偶者

(3)お子様はそのとき（あてはまるもの全てに○をつけてください）

1. 既に就職していた 2. 大学・短大生等だった 3. 高校生だった 4. 中学生だった
5. 小学生だった 6. 小学生未満だった 7. 子供はいなかった

質問 D-5 あなたが淡路島へUターンする直前、あなたご自身あるいは夫の次の職場を検討されたこと
と思いますが、その際の年収がやむをえず低下する可能性がありましたか？

1. 年収が低下する可能性はなかった
2. 年収が0～10%低下する可能性があった 3. 年収が10～20%低下する可能性があった
4. 年収が20～30%低下する可能性があった 5. 年収が30%以上低下する可能性があった
6. まだ就職していなかった

質問 D-6 淡路島へのUターンの際、あなたご自身あるいは夫は勤め先の会社を変えましたか？
（転職しましたか？）

1. 変えた 2. 変えなかった

質問 D-7 あなたご自身あるいは夫の、Uターン直前とUターン直後のご職業についてお答え下さい。

(1)～(3)については、それぞれ下の<1>～<3>欄から1つだけ選び、番号を回答欄に記入して下さい（「その他」を選択の方は、具体的に）。(4)については、具体的にご記入下さい。

*変わっていない方は「変化なし」とご記入下さい

回答欄	(1)雇用形態	(2)職種	(3)会社全体の 全従業員数	(4)勤務先 通勤時間
Uターン 直前				()都/道/府/県()市/区/町/村 通勤時間 約()分
Uターン 直後				()都/道/府/県()市/区/町/村 通勤時間 約()分

<1>欄 雇用形態	1. 会社員 2. 公務員 3. 公的企業職員（農協・JR・JT・NTT等） 4. 自営（農業） 5. 自営（商業） 6. 自営（工業） 7. 自営の家族従業者 8. パート・アルバイト 9. 専業主婦 10. 無職 11. その他（具体的に）
<2>欄 職種	1. 農林漁業職 2. 教員 3. 事務職 4. 管理職 5. 技術職 6. 専門的職業（医師・弁護士・看護師・作家など） 7. 販売・接客・保安職 8. 工場労働・建設作業・交通運転職 9. その他（具体的に）
<3>欄 会社全体の 全従業員数	1. 10人未満 2. 10～99人 3. 100～299人 4. 300～999人 5. 1000～2999人 6. 3000人以上

質問 D-8 Uターンの前後で年収はどのように変化しましたか？

1. +30%以上 2. +20～+30% 3. +10～+20% 4. +0～+10% 5. 全く変わらない
6. -0～-10% 7. -10～-20% 8. -20～-30% 9. -30%以上

質問 D-9 Uターンの前後で仕事の面白さはどうなりましたか？

1. 非常に面白くなった 2. 少し面白くなった 3. 変わらない
4. 少しつまらなくなった 5. 非常につまらなくなった

質問 D-10 あなたが淡路島へのUターン後、再び島外への移住を検討・実行したのはいつ頃ですか？

（ ）歳のころ

淡路島にUターンして（ ）年のころ

質問 D-11 あなたが淡路島外への再移住を検討した際、その際のきっかけになったこととして当てはまるものに、いくつでも○をつけてください。

選択肢検討中

質問 D-12 あなたが淡路島外への再移住を検討した際、その際の差し障りになったこととして当てはまるものに、いくつでも○をつけてください。

選択肢検討中

質問 D-13 あなたが淡路島外への再移住を検討した時期、あなたご自身やご家族の状況はどのようなでしたか？

(1)親の健康状態はどのようなでしたか。また、そのお住まいはどちらでしたか。実親・義親それぞれについて、選択肢から1つだけ選び、番号を回答欄に記入して下さい。

*義親については、当時既婚の方のみお答え下さい

[選択肢]

健康状態→1. 健康 2. やや病気がち 3. 病氣中 4. 既に亡くなっていた

お住まい→1. 淡路島内 2. 淡路島外

回答欄	実父	実母	義父	義母
健康状態				
お住まい				

(2)あなたと配偶者、それぞれそのときの職について、選択肢から1つだけ選び、番号を回答欄に記入してください。 *配偶者については、当時既婚の方のみお答え下さい

[選択肢]

男性の選択肢→1. 管理職だった 2. 管理職ではなかった 3. 仕事はしていなかった

女性の選択肢→4. 常勤で働いていた 5. パートで働いていた 6. 仕事はしていなかった

回答欄	あなた	配偶者

(3)お子様はそのとき（あてはまるもの全てに○をつけてください）

1. 既に就職していた 2. 大学・短大生等だった 3. 高校生だった 4. 中学生だった
5. 小学生だった 6. 小学生未満だった 7. 子供はいなかった

質問 D-14 あなたが淡路島外への再移住をする直前、あなたご自身あるいは夫の次の職場を検討されたことと思いますが、その際の年収が増減する可能性はありましたか？

1. 年収が30%以上増加する可能性があった 2. 年収が20～30%増加する可能性があった
3. 年収が10～20%増加する可能性があった 4. 年収が0～10%増加する可能性があった
5. 年収の増減は分からなかった
6. 年収が0～10%低下する可能性があった 7. 年収が10～20%低下する可能性があった
8. 年収が20～30%低下する可能性があった 9. 年収が30%以上低下する可能性があった

質問 D-15 淡路島外への再移住の際、あなたご自身あるいは夫は勤め先の会社を変えましたか？（転職しましたか？）

1. 変えた 2. 変えなかった

質問 D-16 あなたご自身あるいは夫の、淡路島外への再移住直前と再移住直後のご職業についてお答え下さい。

(1)～(3)については、それぞれ下の<1>～<3>欄から1つだけ選び、番号を回答欄に記入して下さい（「その他」を選択の方は、具体的に）。(4)については、具体的にご記入下さい。

*変わっていない方は「変化なし」とご記入下さい

回答欄	(1)雇用形態	(2)職種	(3)会社全体の 全従業員数	(4)勤務先 通勤時間
再移住 直前				()都/道/府/県()市/区/町/村 通勤時間 約()分
再移住				()都/道/府/県()市/区/町/村

直後				通勤時間 約 () 分
----	--	--	--	--------------

<1>欄 雇用形態	1. 会社員 2. 公務員 3. 公的企業職員（農協・JR・JT・NTT等） 4. 自営（農業） 5. 自営（商業） 6. 自営（工業） 7. 自営の家族従業者 8. パート・アルバイト 9. 専業主婦 10. 無職 11. その他（具体的に）
<2>欄 職種	1. 農林漁業職 2. 教員 3. 事務職 4. 管理職 5. 技術職 6. 専門的職業（医師・弁護士・看護師・作家など） 7. 販売・接客・保安職 8. 工場労働・建設作業・交通運転職 9. その他（具体的に）
<3>欄 会社全体の 全従業員数	1. 10人未満 2. 10～99人 3. 100～299人 4. 300～999人 5. 1000～2999人 6. 3000人以上

質問 D-17 淡路島外への再移住の前後で年収はどのように変化しましたか？

1. +30%以上 2. +20～+30% 3. +10～+20% 4. +0～+10% 5. 全く変わらない
6. -0～-10% 7. -10～-20% 8. -20～-30% 9. -30%以上

質問 D-18 淡路島外への再移住の前後で仕事の面白さはどうなりましたか？

1. 非常に面白くなった 2. 少し面白くなった 3. 変わらない
4. 少しつまらなくなった 5. 非常につまらなくなった

質問 D-19 あなたは淡路島外へ再移住をして良かったとお思いですか？

またその理由（どういう点が良かったのか、悪かったのか）をご記入下さい。

- (1) 1. 非常に良かったと思う 2. どちらかと言えば良かったと思う
3. どちらかと言えば良くなかったと思う 4. 全く良くなかったと思う
5. 良かったとも悪かったとも一概には言えない

(2)淡路島外へ再移住して良かったと思う点

()

(3)淡路島外へ再移住して良くなかったと思う点

()

質問 D-20 今後の移住、淡路島へのUターンに対する意向についてお答え下さい。

(1)今後、いつかもう一度Uターンして淡路島で再び生活したいという意向はありますか？

1. 非常にある 2. ある 3. 関心はあるが今は分からない（どちらとも言えない）
4. ない 5. その他 ()

(2)上の(1)で1.又は2.を選択された方にお尋ねします。

再Uターンされる時期はいつぐらいを予定されていますか。あわせてUターンを予定されている年齢をご記入下さい。

1. できるだけ早く 2. 子どもが小学校へ入学する前に

- また、それは何歳ぐらいの予定ですか。 ⇒ () 歳ごろを予定 ・ 未定

(1)以下の各項目について、それぞれ「1. かなり当てはまる 2. まあ当てはまる 3. どちらとも言えない 4. あまり当てはまらない 5. ほとんど当てはまらない」の中から、あなたのお考えに近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

1	大手企業の地方進出による雇用の創出	1	2	3	4	5
2	地域の地場産業活性化による雇用の創出	1	2	3	4	5
3	地方での給与水準の引き上げ	1	2	3	4	5
4	十分な住宅の確保	1	2	3	4	5
5	多彩な消費生活が可能なショッピング環境作り	1	2	3	4	5
6	娯楽施設（遊園地・映画館等）の充実	1	2	3	4	5
7	文化的施設（ホール・図書館等）の充実	1	2	3	4	5
8	大都市なみの教育環境の整備	1	2	3	4	5
9	既婚女性が働くための職場の充実	1	2	3	4	5
10	地域社会が、濃密な近隣関係を持った「ムラ社会」から脱却すること	1	2	3	4	5
11	公的機関による職場斡旋の充実	1	2	3	4	5
12	豊かな自然環境を維持すること	1	2	3	4	5
13	病院などの医療サービスの充実	1	2	3	4	5
14	高齢者のための福祉施設等の充実	1	2	3	4	5
15	神戸方面とを結ぶ安価な移動手段（高速道路料金や高速バス料金）	1	2	3	4	5
16	その他（具体的に)	1	2	3	4	5

回答欄	1 番の条件	2 番の条件	3 番の条件

(1)淡路島への満足

選択肢検討中

(2)淡路島への不満

選択肢検討中

質問 E-2 今後、政策として地方圏出身者の地元 U ターンを促進するとすれば、そのために有効な手段は何だと思われますか？

(1)以下の各項目について、それぞれ「1. かなり当てはまる 2. まあ当てはまる 3. どちらとも言えない 4. あまり当てはまらない 5. ほとんど当てはまらない」の中から、あなたのお考えに近いものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

		当てはまる ← → 当てはまらない				
1	大手企業の地方進出による雇用の創出	1	2	3	4	5
2	地域の地場産業活性化による雇用の創出	1	2	3	4	5
3	地方での給与水準の引き上げ	1	2	3	4	5
4	十分な住宅の確保	1	2	3	4	5
5	多彩な消費生活が可能なショッピング環境作り	1	2	3	4	5
6	娯楽施設（遊園地・映画館等）の充実	1	2	3	4	5
7	文化的施設（ホール・図書館等）の充実	1	2	3	4	5
8	大都市なみの教育環境の整備	1	2	3	4	5
9	既婚女性が働くための職場の充実	1	2	3	4	5
10	地域社会が、濃密な近隣関係を持った「ムラ社会」から脱却すること	1	2	3	4	5
11	公的機関による職場斡旋の充実	1	2	3	4	5
12	豊かな自然環境を維持すること	1	2	3	4	5
13	病院などの医療サービスの充実	1	2	3	4	5
14	高齢者のための福祉施設等の充実	1	2	3	4	5
15	神戸方面とを結ぶ安価な移動手段（高速道路料金や高速バス料金）	1	2	3	4	5
16	その他（具体的に)	1	2	3	4	5

(2)上に掲げた各条件のうち、特に有効だと思う政策を順に3つまで選び、その番号をご記入下さい。

回答欄	1 番の条件	2 番の条件	3 番の条件

質問 E-3 その他、ご自身の U ターン実行・検討等の経験を通して、いわゆる「U ターン」についてのご意見・ご感想などありましたら、下欄に自由にご記入下さい。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

質問 E-4 本研究「地方圏における高校卒業者の U ターン動向に関する研究」では今後、本アンケート回答者のうち可能な方に対し、ケーススタディとしてお電話或いは実際にお会いし、より具体的なお話を伺わせていただければと思っています。ヒアリング調査にご協力いただける方はお名前とご連絡先（住所、電話番号、メールアドレスなど）をご記入下さい。ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. ヒアリング調査も可能→お名前（ ）
ご連絡先（ ）
2. ヒアリング調査は不可能

質問 E-5 本研究「地方圏における高校卒業者の U ターン動向に関する研究」は、2004 年 3 月に研究結果を論文としてまとめる予定です。本研究の結果が必要な方には、研究論文の概要版をお送りさせていただきます。必要な方はお名前と郵送先をご記入下さい。

1. 研究結果が必要→お名前（ ）
ご郵送先（ ）
2. 研究結果は不要

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかをご確認の上、返信用封筒にて○月○日までにご返送くださいますようお願いいたします。